

総務委員会管内視察報告書

以下のとおり視察の報告をいたします。

1 委員会名及び視察者名

■ 総務委員会

委員長：佐藤 紀子

副委員長：羽田野 徳寿

委員：榎木 智幸、江内谷 満義、黒木 優一、森 りえ、温水ともひさ

2 視察先・調査項目及び日時

■ 都城市内（※別紙行程表のとおり）

日時：令和6年11月28日（木） 9:00 ～ 15:15

調査項目：人口減少社会における地域公共交通の在り方について

3 視察の内容

（1）地域公共交通の現状について

都城市内にある電車、路線バス、コミュニティバス、乗合バスなどを利用し、交通の現状や利用者の状況を確認することを目的で視察を実施。

また、都城駅や山之口駅の駅舎も視察をし、交通結節点の現状も確認した。

（2）市議会が行った政策提言についてのフォローアップ

令和5年2月5日に提言を行った「「地域公共交通利用者増加に向けた都城駅待合室等の整備に関する政策提言書」について、進捗状況等を調査するため、都城駅においてＪＲ宮崎支社及び市総合政策課から説明を受けた。

4 委員感想等（※別紙添付）

5 添付資料

■視察の状況（写真）

① 庄内地区コミュニティバス



② 宮崎交通 路線バス



② 宮崎交通 路線バス



④ 西都城駅



⑤ J R 日豊本線



⑥ 山之口駅



⑦ 高城地域乗合バス



⑧ 高城総合支所前 バス停



⑨ 高崎観光バス



⑩ 都城駅



★ 総務委員会 所管事務調査 管内視察 行程表

調査項目：人口減少社会における地域公共交通の在り方について

実施日：11月28日（木曜日）

交通手段	所要時間	発着	場所	滞在	備考
-	-	集合 9:00	都城市役所	10分	・集合
市役所 公用車	20分	出発 9:10			
庄内地区 コミバス	29分	到着 9:30	庄内地区公民館	13分	
		出発 9:43			
宮交バス	18分	到着 10:12	かかしの里 ゆぽっぽ	45分	
		出発 10:57			
ＪＲ	16分	到着 11:15	西都城駅	19分	
		出発 11:34			
高城 乗合バス	9分	到着 11:50	山之口駅	1時間43分	・山之口駅 視察
		出発 13:33			
高崎観光バス (雀ヶ野線)	35分	到着 13:42	高城総合支所	15分	
		出発 13:57			
市役所 公用車	13分	到着 14:32	都城駅	30分	・都城駅 視察
		出発 15:02			
		到着 15:15	都城市役所	-	・解散

総務委員会管内視察報告書

提出日 令和 6 年 12 月 17 日

報告者 佐藤紀子

- 1 日時 : 令和 6 年 11 月 28 日(木)8:40~15:15
視察先 : 庄内地区コミュニティーバス、宮交バス(西都城駅)、JR(山之口駅)
高城乗合バス(高城総合支所)、高崎観光バス(雀ヶ野線)、都城駅
調査事項 : 人口減少社会における地域公共交通の在り方について

2 現状と課題

- ・ 総務委員会(分科会)では、これまで、所管事務調査に関する話し合いを重ねてきた。本市の市民幸福度指標のデータでは、他の項目に比べ、「移動・交通」の主観数値が極端に低い現状がある。市民の実感として「移動・交通」に不満を感じている人が多いと推察される。長内アドバイザーから「住宅・交通・コミュニティー政策は、連動していないといけない。どこに住んでもらい、どんな生活をして、公共交通を使ってもらえるような政策誘導が重要である。どういうまちづくりをしていくかを考えないといけない。」とのアドバイスをいただいている。
- ・ 話し合いを重ねる中で、「当初、中山間地域の交通に集中して議論していたが、まちなかの交通をどうするのかという議論も必要ではないか。中山間地域だけが高齢化しているわけではない。過疎地だけの課題ではない。バランスよく考えることが必要。」このような意見も出た。
- ・ 委員の大半が地域公共交通をあまり利用していない実態から、1 日かけて、地域公共交通の乗車体験をして、さらに現状と課題を把握していこうということになり、今回の管内視察を実施することになった。

3 市政への反映事項、及び視察の感想

- ・ 庄内地区コミュニティーバスの視察では、1 号車、2 号車に分かれて乗車した。私が乗車したバスは、最初は乗車客がいなかったが、次々 5 人の方が乗り込んで来られた。買い物に行かれる高齢の方がほとんどで、コミュニティーバスがあつて大変助かっているとされていた。利用者数においては、コロナ前の水準には戻っていない状況である。
- ・ 全体として、便数が少ないので、乗り継ぎ等、待ち時間も考えて利用されているようだ。
- ・ 山之口駅は整備されていて、周辺も整備中であった。
- ・ 令和 6 年 2 月に、都城市議会から公共交通の利用促進と地域の賑わい創出を目的に、JR 都城駅の有効活用を求める政策提言書が提出された。「心地よい良い居場所づくり」を検討するため、鉄道利用者の学生たちとのワークショップが 3 回、開催されるとのことであった。今回、都城駅において、JR の方が対応して下さり、ワークショップ関係等、様々お話を伺うことができた。公共交通の利用者は、年々減少していることを踏まえ、持続可能な公共交通網の構築について、今後も総務委員会としても、しっかり取り組んでいきたい。

総務委員会行政視察報告書

令和 6 年 12 月 16 日（月）

委員名 羽田野 徳寿

● 視察報告：人口減少社会における地域公共交通の在り方について

日時：令和 6 年 11 月 28 日（木） 8：40～

場所：JR を含め市内のコミュニティバスなど

視察工程：市役所→庄内地区公民館→（庄内コミバス）→かかしの里ゆぼっぼ
→（宮交バス）→西都城駅→（J R）→JR.山之口駅→（高城乗合バス）
→高城総合支所→（高崎観光バス）→JR 都城駅→市役所

※JR 都城駅にて総合政策課及び JR 宮崎支社から政策提案後の現状の説明を受けた。

【調査目的】

「所管事務継続調査」に基づき「人口減少社会における地域公共交通の在り方」について管内視察（庄内地区コミュニティバス、宮崎交通バス、J R、高城乗合バス、高崎観光バス）を実施し、現状を把握・確認を行うことで今後の政策提案の資とするもの。

また、市議会が昨年度提出した「地域公共交通利用者増に向けた都城駅待合室等の整備に関する提言」について J R 都城駅において進捗状況を確認するもの。

【視察結果】

・ 庄内コミュニティバス

庄内ふれあい号は、2 つのコースに分かれており、1 台ずつで運行している。

庄内から都城に行く際は、コミバスが朝に 2 つのコースを回り、庄内地区公民館に到着後、高崎観光バスに乗り換えて JR 都城駅に到着できるような出発時間が設定されている。

高崎観光バスは 9 時 46 分に庄内地区公民館を出発し、午後 3 時 4 分に庄内地区公民館に到着する。そこからは、ふれあい号で帰途できるよう時間設定しているとのこと。

現在、総合政策課より路線バスを庄内地区公民館に乗り入れることも交渉してもらっており、既に西岳や山田は公民館に路線バスが乗り入れるようになっているとのこと。

庄内ふれあい号は交通弱者の利便性を重視するため民生委員や自治公民館の協力を得て、高齢者が住んでいる場所をマッピングするなどして路線を選定したため、狭い道をくねくねとしたルートとなっているとのこと。

また、定時運行であるが、どこでも手を上げて乗り降りできる。

ふれあい号は 1 か月の利用料が 500 円の定額となっている。住民で運行しているから乗車賃が安い。よく行く目的地は、買物利用のために谷頭のナガヤマであり、駐車場で乗り降りできるようにしてもらっている。

バス停は設置されておらず、バスがだいたいここをこの時間に通ると言う認識で利用されている。利用者はほぼ決まって 40 人くらいであり、女性がほとんどである。

土日は運行しておらず、週 4 日運行している。

現在 6 年目で、最初にこのバスを運行したときに参加された乗客の世代交代が始まっており、あとを募集するのがなかなか大変であるとのこと。

乗客を増やすために、お試し乗車として民生委員や社協がただ券を配っている。

9割が平田や乙房のお客様とのこと。(2号車の場合)

- ・山之口駅

駅舎が新築され、トイレは整備されているが、待合室内は何も無く、壁両側に長椅子があり、10人程度が座れるが、空調も整備されていない。

現状で乗降客は、トイレ以外に駅舎に立ち入ることは無いと想定される。

やはり駅前にバス停を集めてもらい、乗降客が駅舎を利用するよう誘導して欲しい。

総務委員会が駅舎内にいる間に、入ってきた人は1人もいなかった。

- ・西都城駅

広い構内であるが、広いだけでスペースが有効に使用されていない。

高架であるが、列車に乗るためのエレベーターが無い。

空調が無く、待ち時間を有効に活用したり、休憩できる施設は無い。

- ・高城乗合バス

国道269沿いにバス停があり、待合のための椅子や雨よけも無く、雨風が強い日は、あまり利用したくなくと想定される。バス停の場所がはっきりとはわからない。

バス停に貼ってある運行日や時間なども印刷がかすれて、よくわからない状況になっている。

- ・高崎観光バス

高城総合支所の道路向かいの小春荘近くにバス停があった。ここも椅子や雨よけも無く利用者には厳しい状況だと考える。高城総合支所からJR都城駅までの運賃は630円であった。

- ・JR都城駅

高校生から話を聴きたいと高専の先生が呼びかけしてワークショップをしている。

全3回を計画しており、1回目はJRを使用している高専や泉ヶ丘高校と農業高校の生徒と行い、駅周辺を見てもらい方向性を考えてもらった。2回目は参加人数が多かったため、文化ホールの会議室でレイアウトを見ながら検討してもらった。

3回目は、先生が模型を作り、12月14日(土)に予定しているとのことであった。

【考察】

庄内地区はリーダーが住民の思いを形にするために努力されていることがよく理解できた。運転手も、運行時間の利便性を考えられ、始発の運行時間前にライドシェアでもこのバスを使わせてもらいたい等、リーダーの思いと同じく沢山の乗客を乗せてあげたいと考えておられるようである。

こけない体操の参加者もふれあい号が時間的に合わない人は民生委員や役員の人が送ってあげているようだ。地域のリーダーによって、大きく違うと感じた。

人の生活の利便性に合わせた運行というのが、利用者の増に大きく関わっていると感じた。コミュニティバスが利用できる範囲とその範囲から都城などに出ていく路線を運行するバス会社が時間的に効率的で有機的に繋がるのが大切であると感じた。

その中で、利用者増のための周知について努力されているようであるがなかなか浸透していない現実があった。

また、性別で利用者数に大きな違いがあることもわかった。今後、委員会で上がったタクシーの市内利用負担1回500円というのも複合させることでさらに交通弱者が外に出て行ける社会の実現に繋げていきたいと考える。

総務委員会 所管事務調査 管内視察報告書

榎木 智幸

実施期日：令和6年11月28日（木曜日）

視察交通機関：＜庄内地区コミバス＞＜宮交バス＞＜JR＞＜高城乗合バス＞＜高崎観光バス＞

調査項目：人口減少社会における地域公共交通のあり方について

（視察概要）

市役所集合 08：40

庄内地区公民館 09：10 着～.09：20 発・庄内地区コミバス乗車（朝倉庄内地区まちづくり協議会事務局長からレク受ける）

かかしの里ゆぼっぽ 10：12 着～10：57 発・宮交バス

西都城駅 11：15 着～11：34 発・JR

山之口駅着 11：50 着

（所見）

庄内地区では朝倉事務局長が出迎えていただき、コミバスの現状と運航形態を教えてください大まかに理解ができた。また、運転手の方からも車中いろいろ利用者状況について教えてください、特にこけない体操などの地域の行事がある時の利用者の減や病院の送迎のサービスの向上により乗車に繋がらない話も伺えた。また、運転業務を遂行する上でお年寄りや利用者の名前、家族構成や生活環境を把握しておく必要性も語っていた。庄内地区では、コミバス一月乗り放題を 500 円に設定しており、他の地域の 1000 円の半額となっていてまち協での運航の強みを生かしていると説明を受けた。話を伺いながら都城管内では、一番市民が利用しやすい形態になっていることを感じた。

この後、ゆぼっぽから宮交バスに乗って西都城駅へ向かった。道中利用者を見ていると市発行のバス券を利用しておられる姿があり、バス券の効果を感じた。

その後 JR で山之口駅まで乗ったところ、平日であったが利用者が結構いると感じて JR の必要性も感じた。

今回の研修で感じたことは、各種交通機関で取り扱う高齢者交通割引券が多数存在していることに、利用者の立場から統一できないものか、県、市、交通機関、コミバスで協議して統一利用券の必要性を感じた。

総務委員会 所管事務調査管内視察報告書

報告者 黒木 優一

- 【調査日】 令和 6 年 11 月 28 日（木）
【調査場所】 管内
【調査項目】 人口減少社会における地域公共交通の在り方について

I、調査概要

- ① 庄内地区コミバスは、地区公民館で 2 班に分かれて出発し関之尾町を回って地区公民館を経由して菓子野町を回ってゆぼっぼまで乗車した。乗客は庄内町と菓子野町から 4 人だった。スーパーとコメリで降車した。
- ② ゆぼっぼからの宮交バスは委員のほかに 4 人の乗降があった。西駅で降車。
- ③ J R で西駅から山之口駅まで乗車。委員のほかに 20 人ほどが乗降した。
- ④ 昼食後高城乗合バスに乗車、高城高速バス停を経由して高城総合支所で降車。
- ⑤ 高城総合支所から高崎観光バス雀ヶ野線に乗車、委員外に 4 人乗車したが、話好きの高齢の人がおり、賑やかだった。都城駅で降車。
- ⑥ 都城駅で、30 分ほど、前総務委員会が提言した空きスペースの状況を J R 職員から説明を受けた。総合政策課も立ち会った。

II、調査の感想と成果

今回、市内の大部分を占める地域公共交通機関を利用することができ、日常では利用することのないところが体験できたことは、非常に良かった。

体験前は分からなかったが、バス利用者は高齢の方が多く、鉄道はどちらかというと学生を含む若い人の利用が多かったように感じた。

庄内のコミバス利用の方は、買い物をするための利用者が多いと聞いていたが、その通りだった。路線バスとの連絡も考えられていた。前もって、資料の作成もして頂き感謝したい。

また、コミバス利用の方は、常連となり顔見知りもできてコミュニケーションもとることができており、このこともいいことだと感じた。

全体的にみると、庄内のコミバス利用者が多いのは、路線と乗降場所の工夫がされているからだと思う。

まだコミバスがない地区もあるが、いいところ取りをしてほしいと思う。

山之口駅はきれいに改装されていたが、何かが足りないように感じた。子どもたちの絵とか、郷土芸能のポスターとかでにぎやかにしてはどうかと思った。

都城駅の空きスペースは検討会が 3 回開催されるということで、1 回目は、学生の参加もあったとのことだった。ユニークで実用性のある案を期待したい。

都城市議会議長 様

提出日 令和6年12月 日
氏 名 江内谷 満 義

視 察 報 告 書

以下のとおり、視察の報告をいたします。

1 委員会名及び視察者名

委員会 総務委員会 所管事務調査 管内視察
視察者 江内谷満義 外8名
調査項目 人口減少社会における地域公共交通の在り方について

2 視察先及び日時

令和6年11月28日（木）

- ・都城市役所 ⇒ 庄内地区公民館 ⇒ かかしの里ゆぼっぱ ⇒
西都城駅 ⇒ 山之口駅 ⇒ 高城総合支所 ⇒ 都城駅 ⇒ 市役所

3 視察の内容

- ・総務委員会の「所管事務調査：人口減少社会における地域公共交通の在り方について」、の現地に、出向いての実際の乗務による体験を行った。

4 視察の感想

- ・市内のコミュニティバス、乗り合いバス、デマンドバス等のコースの運航状況や利用状況等の研修を進めてきたが、実際現地に出向いて乗車した。9人乗りの小型バスに、地元の利用者と同乗であった。買い物、温泉、病院行き等、定期的に利用されておられるようで、楽しそうに活用されている様子、を感じた。乗降りはバス停だけでなく、経路上であればどこでも乗車、降車できるのは、好評の様子。（同乗の、利用者との話）

5 視察の成果

- ・都城市のコミュニティバスは地域住民の生活を支える重要な役割を果たしている、ことを実感。
- ・今回は、コミュニティバス、宮交バス、JR、乗合バス等を、乗り継いでの乗車体験であったが、上手く組み合わせて（乗り継いで）いけば、結構楽しい気分転換にもなると感じた。（利用するきっかけづくりになれば良い）
- ・このコミュニティバスをさらに充実するためには、利用者の増を図り、便数を増やしていくことが必要。（地域住民に周知、PRの徹底も必要）
- ・今後、高齢化率はどんどん上がっていく。利用者は確実に増えていく！

総務委員会管内視察報告書（感想等）

委員名 森 りえ

1 視察の感想

地域公共交通について、実際にコミュニティバスや宮交路線バス、高崎観光の路線バス、高城地域乗合バス、JR 等を使ったことで、それぞれの路線の課題が見えてきた。

（1）コミュニティバス等について

利用者さんの話が聞けてよかったと思う。

庄内のコミュニティバスは、地域内を細かく走っていて、運転免許証を返納された方にとっては自宅のすぐ近くまで走っている、必要なところで止めてくれるという面では使いやすいのだと思った。

利用者が世代交代していて次の世代がどこまで使うかが課題であるとのことだった。

地域のイベント（こけない体づくりや今回は報恩講）によって利用者の動向が変化するなど、地域の状況にあった運行がされていた。

山之口町から高城町への路線も細かい設定がされていると思ったが、JR との接続が課題ではないだろうか。

高崎観光バスを活用した路線バスは、都城医師会病院を経由しており、都城駅まで乗車したが、運転手、利用者同士が顔なじみであることも分かった。

コミュニティバスや乗り合いバスは利用者さんが顔なじみであることから、安否確認の一つとなっているのかもしれない。

（2）駅について

西都城駅のバリアフリー化は課題である。

山之口駅は整備が進んでいるが、観光スポーツセンターの役割がよくわからない。パンフレットにおいてありみやざき国スポの案内とされに関する大きな QR コードがあったが、今後どのように利活用するのだろうか。



プラットホームから駅舎まではバリアフリーにはなっていたが、列車を利用するとき（乗り降り）の時は車いす利用者の解除はどうするのかと思う。



都城駅の観光協会の跡地の利用は計画が進んでおり、高校生が使える場としての活用を望みたい。

2 視察の成果及び市政への反映等

コミュニティバスや宮交路線バス、高崎観光の路線バス、高城地域乗合バス、JR を実際に使ってみて、利用しやすい運行路線や時間帯、乗り換えの待ち時間を等に課題があることが分かった。

免許を返納された方が使いやすい路線であること、利用者の利用目的に合った路線であるのか、コミュニティバスだから対応できることもあるのではないかと思います。

都城駅の利用については高校生の意見を活かした活用に向かっていることが分かった。

コワーキングスペースとしての活用や、電源、Wi-Fi の設備を整えて、活用しやすい空間にしてほしい。

総務委員会行政視察報告書（感想等）

※委員ごとに作成

委員名 温水 智久

1 視察の感想

※参加委員の感想を記載。

山間部ではバスが安く利用できるのばとても良いと思
が利用する市民が少なく、もっと取引組のアピールをすれば
交通手段困っている市民が助かると感じた。

また山間部だけでなく、中じ地にも ~~車~~ バスを
必要としている市民も多いと思う。

また利用する市民が多くなったら、バンではなく小型バス
などにすれば、宣伝効果もあると思う。

2 視察の成果及び市政への反映等

※視察の成果、市政に反映するために参考になった事項などを記載。

- ① バスの利用客を増やす。
- ② バスの 宣伝をする。
- ③ バスを バン → 小型バスにする
- ④ バスのルートを広げる
- ⑤

とても有意義な時間になりました。
ありがとうございました。